

■施肥の状況

令和7年9月16日に区分2（下水汚泥肥料+化学肥料）の圃場に施肥しました。

写真1 施肥中の圃場（その1）



写真2 施肥中の圃場（その2）



写真3 施肥後



写真4 施肥された肥料



青空の下、鹿児島県のシンボルである桜島を望む試験圃場で、ペレット化された下水汚泥肥料を施肥機により均等に散布しました。

■播種

令和7年10月11日に区分1（化学肥料区）で大根の播種を行いました。続いて、10月14日には区分2（化学肥料+下水汚泥肥料区）でも播種を実施しました。

写真5 区分1（化学肥料区）



写真6 区分1（化学肥料区）



写真7 区分2（化学肥料+下水汚泥肥料区）



写真8 区分2（化学肥料+下水汚泥肥料区）



播種の方法は、白黒マルチを敷設しながら、種子が一定間隔で付けられた専用のひもを同時に設置しました。この方法により、雑草の抑制や地温管理を行いながら、均等な株間を確保できます。また、区分1では播種から3日後にはかわいい芽が出て、順調に育ち始めています。